



平成28年4月14日

各 位

会社名 株式会社ハウスイ
代表者名 代表取締役社長 高橋 昌明
(コード番号 1352 東証第一部)
問合せ先責任者 執行役員管理本部副本部長 小林 留一
(TEL 03-3543-3536)

(訂正) 平成27年3月期第2四半期決算短信 [日本基準] (連結) の一部訂正について

当社は、平成26年10月30日に開示いたしました表記開示資料について、一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成28年4月14日付「過年度の決算短信等の訂正並びに有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

(訂正後)



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ホウスイ

コード番号 1352 URL <http://www.hohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 昌明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 小林 留一 TEL 03-3543-3536

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 31,403 | 30.2 | 10 | △94.3 | 29 | △86.5 | △8 | 二 |
| 26年3月期第2四半期 | 24,118 | 10.0 | 178 | △9.6 | 220 | △8.4 | 105 | △8.7 |

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △25百万円(二%) 26年3月期第2四半期 136百万円(2.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | △0.10 | - |
| 26年3月期第2四半期 | 1.26 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 25,202 | 5,445 | 20.5 | 61.58 |
| 26年3月期 | 24,423 | 5,641 | 21.8 | 63.54 |

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 5,156百万円 26年3月期 5,321百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | - | - | - | 2.00 | 2.00 |
| 27年3月期 | - | - | - | - | - |
| 27年3月期(予想) | - | - | - | 2.00 | 2.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 64,000 | 26.8 | 300 | 50.8 | 320 | 10.3 | 160 | 28.0 | 1.91 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】P3. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年3月期2Q | 83,790,000株 | 26年3月期 | 83,790,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期2Q | 46,632株 | 26年3月期 | 46,277株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 27年3月期2Q | 83,743,629株 | 26年3月期2Q | 83,744,787株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策等により景気は緩やかな回復基調にあるものの、個人消費に足踏みが見られることや海外景気の減速懸念など、景気の先行きは依然不透明な状況にあります。

水産・食品業界におきましては、円安による原材料の輸入価格の上昇や個人消費の節約志向等により、依然厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは顧客のニーズに迅速に対応するとともに、増強した設備やグループ機能を最大限に活用して収益確保に努めてまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、新設事業所における新規顧客との取引開始等により前年同期比増収となりましたが、それに伴う費用が増大したことにより減益となりました。

以上の結果、売上高が314億3百万円（前年同期比72億84百万円増）、営業利益10百万円（前年同期比1億68百万円減）、経常利益29百万円（前年同期比1億90百万円減）、四半期純損失8百万円（前年同期は1億5百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「水産物卸売事業」から「水産食品事業」へと報告セグメント名称を変更しております。なお、当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

① 冷蔵倉庫事業セグメント

冷蔵倉庫事業セグメントは、市川物流センターの開設により売上高は増加しました。開設により減価償却費の増加がありましたが、経費の削減などにより営業利益も増加いたしました。その結果、売上高は24億32百万円（前年同期比3億32百万円増）となり、営業利益は1億37百万円（前年同期比21百万円増）となりました。

② 水産食品事業セグメント

水産食品事業は、リテールサポート部門における市川流通センターにおける新規顧客との取引等により売上高は増加したものの、それに伴う経費が大幅に増大したことにより、売上高は289億70百万円（前年同期比69億52百万円増）となり、営業損失は1億27百万円（前年同期は営業利益61百万円）となりました。

セグメント業績の詳細については「4. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比7億79百万円増加し、252億2百万円となりました。

流動資産は、売上債権の増加等により、前期末比12億6百万円増加の94億71百万円となりました。

固定資産は、前期末比4億27百万円減少の157億31百万円となりました。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比9億75百万円増加し、197億57百万円となりました。

流動負債は、仕入債務や借入金の増加等により前期末比14億25百万円増加し、105億45百万円となりました。

固定負債は、借入金の返済等により前期末比4億49百万円減少し、92億12百万円となりました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、第2四半期累計期間純損失8百万円、株主配当金の支払1億67百万円等により、前期末比1億96百万円減少の54億45百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年7月31日付で公表した連結業績予想から変更はありません。

第2四半期（累計）の連結及び個別の業績予想に関しましては、実績値と差異が生じたので、本日付（平成26年10月30日付）で「業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」を公表しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,214 | 1,461 |
| 受取手形及び売掛金 | <u>4,054</u> | <u>5,628</u> |
| 商品及び製品 | 1,877 | 2,031 |
| 原材料及び貯蔵品 | 26 | 19 |
| 関係会社預け金 | 658 | 49 |
| 繰延税金資産 | <u>56</u> | <u>56</u> |
| その他 | <u>399</u> | <u>246</u> |
| 貸倒引当金 | <u>△23</u> | <u>△23</u> |
| 流動資産合計 | <u>8,264</u> | <u>9,471</u> |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 17,188 | 17,207 |
| 減価償却累計額 | <u>△7,633</u> | <u>△7,947</u> |
| 建物及び構築物(純額) | <u>9,555</u> | <u>9,260</u> |
| 機械装置及び運搬具 | 3,677 | 3,711 |
| 減価償却累計額 | <u>△2,422</u> | <u>△2,522</u> |
| 機械装置及び運搬具(純額) | <u>1,255</u> | <u>1,189</u> |
| 工具、器具及び備品 | 403 | 406 |
| 減価償却累計額 | <u>△222</u> | <u>△242</u> |
| 工具、器具及び備品(純額) | <u>180</u> | <u>164</u> |
| 土地 | 3,304 | 3,302 |
| リース資産 | 576 | 600 |
| 減価償却累計額 | <u>△212</u> | <u>△247</u> |
| リース資産(純額) | <u>364</u> | <u>353</u> |
| 有形固定資産合計 | <u>14,659</u> | <u>14,269</u> |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 706 | 667 |
| その他 | 200 | 194 |
| 無形固定資産合計 | <u>907</u> | <u>861</u> |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 305 | 323 |
| 長期貸付金 | <u>11</u> | <u>16</u> |
| 繰延税金資産 | 148 | 142 |
| その他 | 132 | 127 |
| 貸倒引当金 | <u>△5</u> | <u>△11</u> |
| 投資その他の資産合計 | <u>591</u> | <u>599</u> |
| 固定資産合計 | <u>16,158</u> | <u>15,731</u> |
| 資産合計 | <u>24,423</u> | <u>25,202</u> |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|-------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,326 | 5,167 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 133 | 321 |
| 1年内返済予定の関係会社長期借入金 | 394 | 374 |
| 短期借入金 | 2,175 | 1,775 |
| 関係会社短期借入金 | 800 | 1,600 |
| リース債務 | 115 | 118 |
| 未払法人税等 | 90 | 74 |
| 賞与引当金 | 75 | 88 |
| 役員賞与引当金 | 14 | — |
| その他 | 995 | 1,025 |
| 流動負債合計 | <u>9,119</u> | <u>10,545</u> |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,993 | 4,785 |
| 関係会社長期借入金 | 3,101 | 2,924 |
| リース債務 | 252 | 237 |
| 退職給付に係る負債 | 891 | 869 |
| 本社移転損失引当金 | 147 | 147 |
| 繰延税金負債 | — | 2 |
| 長期預り保証金 | 6 | 6 |
| 長期未払金 | 122 | 111 |
| 負ののれん | 146 | 128 |
| 固定負債合計 | <u>9,662</u> | <u>9,212</u> |
| 負債合計 | <u>18,781</u> | <u>19,757</u> |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,485 | 2,485 |
| 資本剰余金 | 1,220 | 1,220 |
| 利益剰余金 | 1,590 | 1,414 |
| 自己株式 | △1 | △1 |
| 株主資本合計 | <u>5,294</u> | <u>5,118</u> |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 26 | 38 |
| その他の包括利益累計額合計 | 26 | 38 |
| 少数株主持分 | 320 | 288 |
| 純資産合計 | <u>5,641</u> | <u>5,445</u> |
| 負債純資産合計 | <u>24,423</u> | <u>25,202</u> |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 24,118 | 31,403 |
| 売上原価 | 21,987 | 28,992 |
| 売上総利益 | 2,130 | 2,410 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,951 | 2,400 |
| 営業利益 | 178 | 10 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 1 |
| 受取配当金 | 1 | 1 |
| 負ののれん償却額 | 18 | 18 |
| 雑収入 | 65 | 71 |
| 営業外収益合計 | 87 | 93 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 44 | 71 |
| 雑支出 | 1 | 2 |
| 営業外費用合計 | 46 | 74 |
| 経常利益 | 220 | 29 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社株式売却益 | 63 | — |
| 特別利益合計 | 63 | — |
| 特別損失 | | |
| 事務所移転費用 | 1 | — |
| 特別損失合計 | 1 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 281 | 29 |
| 法人税等 | 149 | 66 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 132 | △36 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 27 | △28 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 105 | △8 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△) | <u>132</u> | <u>△36</u> |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3 | 11 |
| その他の包括利益合計 | <u>3</u> | <u>11</u> |
| 四半期包括利益 | <u>136</u> | <u>△25</u> |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | <u>108</u> | <u>3</u> |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 27 | △28 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) |
|-------------------|---------|---------------|---------------|-----|--------------------------|
| | 冷蔵倉庫事業 | 水産食品事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,100 | <u>22,018</u> | <u>24,118</u> | — | <u>24,118</u> |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 45 | 10 | 55 | △55 | — |
| 計 | 2,145 | <u>22,028</u> | <u>24,174</u> | △55 | <u>24,118</u> |
| セグメント利益 | 116 | <u>61</u> | <u>178</u> | — | <u>178</u> |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「水産食品事業」において、株式会社千日総本社から事業を譲り受けたことにより、のれんが発生している。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において777百万円である。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)1 |
|-------------------|---------|---------------|---------------|------|---------------------------|
| | 冷蔵倉庫事業 | 水産食品事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,432 | <u>28,970</u> | <u>31,403</u> | — | <u>31,403</u> |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 104 | 5 | 109 | △109 | — |
| 計 | 2,536 | <u>28,975</u> | <u>31,512</u> | △109 | <u>31,403</u> |
| セグメント利益又は損失(△) | 137 | <u>△127</u> | <u>10</u> | — | <u>10</u> |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

2. 第1四半期会計期間より、従来の「水産物卸売事業」から「水産食品事業」へと報告セグメント名称を変更している。なお、当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はない。